

S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

C. 指 導

◇感覚と運動の指導 (3時間 : 1P)

【 概 要 】

LD、ADHD、ASD 等の「発達障害」によく見られる感覚運動機能のつまずきについて、感覚の過敏、視機能の問題、運動の不器用さ（発達性協調運動障害）などを中心に、その観察の視点と方法、つまずきの要因の分析、学習や日常生活への影響について述べる。また、学校で実施可能な活動の具体例を紹介しながら、感覚運動機能のつまずきの指導の実際について述べる

【 キーワード 】

感覚運動機能、感覚過敏、視機能、注視、眼球運動、視覚認知、目と手の協応、ラテラルティ（利き側）、不器用さ（発達性協調運動障害）、低緊張、姿勢保持、運動企画、補助具

【 到達目標と評価 】

- ①発達障害に見られる感覚運動機能のつまずきの状態像について説明することができる。
- ②視機能のつまずきが学習や日常生活に及ぼす影響について説明することができる。
- ③姿勢保持の困難や運動の不器用さが学習や日常生活に及ぼす影響について説明することができる。
- ④感覚運動機能のつまずきのアセスメント方法の基本について述べることができる。
- ⑤感覚運動機能のつまずきの指導方法を具体的に挙げるができる。